

# 「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」令和5年度調査結果



## 調査の目的

- 公立の小・中・高等学校等における日本語指導が必要な児童生徒の学校での在籍状況や指導状況、進路など、日本語指導が必要な児童生徒を取り巻く実態を把握し、今後の施策に活用する。

※本調査は、平成3年度から開始し、現在は2年毎に調査しているもの

## 調査対象

- 全都道府県、市区町村教育委員会

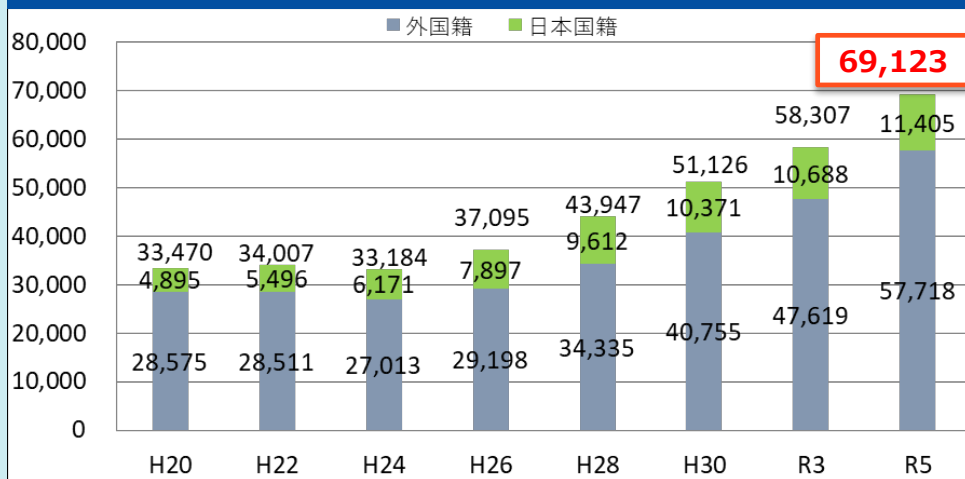
## 調査時点

- 令和5年5月1日
- (進路状況等は令和4年度末)

## 主な調査結果

### (1) 在籍状況

公立学校における日本語指導が必要な児童生徒数の推移



### (3) 進路状況等

中学生の進学率：90.3% (全中学生99.0%) 前回89.9% (全中学生99.2%)  
 高校生の進学率：46.6% (全高校生75.0%) 前回51.8% (全高校生73.4%)  
 高校生の中退率：8.5% (全高校生1.1%) 前回6.7% (全高校生1.0%)

### (2) 日本語指導の状況

○特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒数及び割合

令和5年度	特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒数(人)	日本語指導が必要な児童生徒のうち、特別な配慮に基づく指導を受けている児童生徒の割合(%)
外国籍	52,176(43,332)	90.4%(91.0%)
日本国籍	9,878( 9,419)	86.6%(88.1%)

※( )は令和3年度。

○「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒数及び学校数

令和5年度	「特別の教育課程」による指導を受けている児童生徒数(人)		「特別の教育課程」による指導を行っている学校数(校)	
	外国籍	日本国籍	外国籍	日本国籍
義務教育段階	37,500 (31,796)	6,809 (6,361)	5,880 (4,943)	2,363 (2,239)
高等学校段階	215	30	33	13

※( )は令和3年度。高等学校段階における「特別の教育課程」は令和5年度から制度導入。